

阿波範士言行録稿本

分類一

「墓碑銘」

阿波研造宏鴻ト号ス 明治十三年四月四日宮城県桃生郡大川村字横川佐藤清左衛門長男ニ生ル 剛毅果斷長ズルニ從イ刻苦勉勵一八

歳ニシテ漢学ノ私塾ヲ開キ以テ郷土奨学ニ力ヲ致ス 後石巻市阿波

家ニ入りテフサト結婚家業ノ旁ヲ武道ニ依ル心身ノ練磨ニ專念シ明

治三十三年仙台藩士雪荷弓術師範木村時隆先生ニ師事シ同流免許皆

伝弓書一切ノ印許ヲ受ク 同三十五年石巻市ニ講武館ヲ創設諸師範

ヲ聘シテ弓劍柔道及居合抜刀術薙刀等ヲ指南研究専ラ武道ノ奨励ニ

務ム 明治四十二年仙台ニ転住各派武道家ノ圧迫ト漸ク切迫セル貧

困ニ直面ニ女ヲ擁シテ妻フサト相勵ミ相扶ケ苦難ノ道ヲ迪ル事久シ

明治四十三年東北医学専門学校及第二高等学校ニ弓道師範ヲ囑託

セラレタルヲ始メトシ漸次東北各地諸学校ノ弓道師範ニ任ゼラル

同年始メテ大日本武徳会大会ニ出演其入神ノ妙技ヲ以テ満堂ヲ魅了

シ弓名天下ニ顯ル 幾何モナクシテ在東京本多利実先生ノ高名ヲ慕

イ入門切磋ノ功成リテ竹林派弓道ノ免許皆伝ヲ受ク 大正五年武徳

会弓道錬士同六年第二十一回武徳会演技大会ニ於テハ拔群ノ成績ト

シテ短刀一口ヲ授与セラレ次デ同七年弓道教士ノ称号ヲ受ク

爾来愈々修業研鑽或ハ名僧ノ門ヲ敲キテ哲理ヲ極メ又ハ參禅シテ

悟道ニ徹ス 其ノ説ク処弓ハ単ナル技ニ非ズ実ニ武士道ノ源泉日本精神顯現ノ直道ナルト共ニ又人生頓悟ノ捷徑トナシ昭和二年大射道教ヲ創設シテ教ヲ天下ニ垂ル 同年弓道範士ノ称号ヲ受ク 門下ニ幾多ノ人材ヲ出シテ徳望年ト共ニ高カリシモ宿痼遂ニ拭イ難ク昭和十四年三月一日行年六十歳仙台市ニ於テ眠ル